

日本原子力学会 標準委員会
基盤・応用技術専門部会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会
第3回 議事録

1. 日時：平成26年10月27日（月） 13:30～16:00

2. 場所：安藤ハザマ本社 会議室

3. 出席者：（11名：敬称略、順不同）

木村（主査、フジタ）、中田（副主査、MNEC）、奥野（幹事、安藤ハザマ）、坂本（ATOX）、河野（ATOX）、谷口（大成建設）、田中（エネルギー総研）、河野（日立GE）、廣内（東芝）、大石（清水建設）、尾方（MHI）

4. 配布資料

SMA4-1 第2回議事録（案）

SMA4-2 コンクリート材料の原子数密度など

SMA4-3 中性子及びガンマ線のコンクリートにおける減衰評価

5. 議事

- ・ 今回、委員候補として田中健一氏（一般財団法人エネルギー総合工学研究所）、谷口雅弘氏（大成建設（株））、常時参加者候補として河野直文氏（日立GE）、河野秀紀氏（株式会社アトックス）に参加して頂く事を分科会に提案する事とした。
- ・ 本作業会の作業工程表を作る事とした（フジタ 木村）
- ・ SMA4-2 の組成データを密度 $2.1\text{g}/\text{cm}^3$ に規格化したデータを作成し、作業会メンバーに送付する。（安藤ハザマ 奥野）
- ・ SMA4-3 の評価条件において、評価体系を外半径7mから8mに変更する事とした。
- ・ SMA4-3 で求める線量は実効線量とし、線量換算係数は原子力学会標準2010を用いる事とした。
- ・ SMA4-3 の解析は、メーカーとATOXを中心に行う事となった。
- ・ SMA4-3 の表2.2-2 の中性子スペクトルデータは、炉からのスペクトルで公開できるものを提供頂き、これを元に計算する事となった。（エネルギー総研 田中）
- ・ 次回までに、計算内容をフィックスし、計算結果を出せる状況であれば提示して頂く事となった。

次回委員会： 1月16日（金）13:30～ を候補とする。

以 上